

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	令和4年6月29日
【会社名】	日清食品ホールディングス株式会社
【英訳名】	NISSIN FOODS HOLDINGS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 安藤 宏基
【本店の所在の場所】	大阪市淀川区西中島四丁目1番1号 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区新宿六丁目28番1号
【電話番号】	(03) 3205-5111 (代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員・CFO(グループ財務責任者) 矢野 崇
【縦覧に供する場所】	日清食品ホールディングス株式会社 東京本社 (東京都新宿区新宿六丁目28番1号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

令和4年6月1日に提出いたしました臨時報告書の記載事項のうち、新株予約権の発行価格、発行価額の総額が令和4年6月28日に確定いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第5項の規定に基づき、臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

訂正箇所には下線を付しております。

日清食品ホールディングス株式会社 第51回新株予約権

(3) 発行価格

(訂正前)

次式のブラック・ショールズ・モデルにより以下の基礎数値に基づき算出した1株当たりのオプション価格に新株予約権1個当たりの目的となる株式の数を乗じた金額(1円未満の端数は四捨五入)とする。

$$C = Se^{-qT} N(d) - Xe^{-rT} N(d - \sigma\sqrt{T})$$

ここで、

$$d = \frac{\ln\left(\frac{S}{X}\right) + \left(r - q + \frac{\sigma^2}{2}\right)T}{\sigma\sqrt{T}}$$

1株当たりのオプション価格(C)

株価(S) : 2022年6月28日の東京証券取引所における当社の普通株式の普通取引の終値(終値がない場合は、翌取引日の基準値段)

行使価格(X) : (募集新株予約権を行使することにより交付を受けることができる株式1株当たりの、新株予約権の行使時に払込むべき金額 : 1円)

予想残存期間(T) : 10.774年

株価変動性() : 10.774年間(2011年9月19日から2022年6月28日まで)の各取引日における当社の普通株式の普通取引の終値に基づき算出した株価変動率

無リスクの利子率(r) : 残存年数が予想残存期間に対応する国債の利子率

配当利回り(q) : 1株当たりの配当金(過去12カ月の実績配当金) ÷ 上記 に定める株価

標準正規分布の累積分布関数(N(・))

上記により算出される金額は、本新株予約権の公正価額であり、有利発行に該当しない。

本新株予約権を付与される者が払込金額の払込に代えて、当社に対する金銭報酬債権をもって相殺することにより払込みを行う。

(訂正後)

新株予約権1個当たり803,000円

上記金額は、本新株予約権の公正価額であり、有利発行に該当しない。

本新株予約権を付与される者が払込金額の払込に代えて、当社に対する金銭報酬債権をもって相殺することにより払込みを行う。

(4) 発行価額の総額

(訂正前)

未定

(訂正後)

230,489,700円

日清食品ホールディングス株式会社 第52回新株予約権

(3) 発行価格

(訂正前)

次式のブラック・ショールズ・モデルにより以下の基礎数値に基づき算出した1株当たりのオプション価格に新株予約権1個当たりの目的となる株式の数を乗じた金額(1円未満の端数は四捨五入)とする。

$$C = Se^{-qt} N(d) - Xe^{-rt} N(d - \sigma\sqrt{T})$$

ここで、

$$d = \frac{\ln\left(\frac{S}{X}\right) + \left(r - q + \frac{\sigma^2}{2}\right)T}{\sigma\sqrt{T}}$$

1株当たりのオプション価格(C)

株価(S) : 2022年6月28日の東京証券取引所における当社の普通株式の普通取引の終値(終値がない場合は、翌取引日の基準値段)

行使価格(X) : (募集新株予約権を行使することにより交付を受けることができる株式1株当たりの、新株予約権の行使時に払込むべき金額 : 1円)

予想残存期間(T) : 2.364年

株価変動性() : 2.364年間(2020年2月16日から2022年6月28日まで)の各取引日における当社の普通株式の普通取引の終値に基づき算出した株価変動率

無リスクの利子率(r) : 残存年数が予想残存期間に対応する国債の利子率

配当利回り(q) : 1株当たりの配当金(過去12カ月の実績配当金) ÷ 上記 に定める株価

標準正規分布の累積分布関数(N(・))

上記により算出される金額は、本新株予約権の公正価額であり、有利発行に該当しない。

本新株予約権を付与される者が払込金額の払込に代えて、当社に対する金銭報酬債権をもって相殺することにより払込みを行う。

(訂正後)

新株予約権1個当たり8,951円

上記金額は、本新株予約権の公正価額であり、有利発行に該当しない。

本新株予約権を付与される者が払込金額の払込に代えて、当社に対する金銭報酬債権をもって相殺することにより払込みを行う。

(4) 発行価額の総額

(訂正前)

未定

(訂正後)

35,244,024円

日清食品ホールディングス株式会社 第53回新株予約権

(2) 発行数

(訂正前)

5,743個

(訂正後)

子会社取締役 5,502個

子会社使用人 241個 ()

合計 5,743個

() 当該使用人は子会社取締役であったが、2022年4月1日に退任し、現在は子会社の使用人である。

(3) 発行価格

(訂正前)

次式のブラック・ショールズ・モデルにより以下の基礎数値に基づき算出した1株当たりのオプション価格に新株予約権1個当たりの目的となる株式の数を乗じた金額(1円未満の端数は四捨五入)とする。

$$C = Se^{-qT} N(d) - Xe^{-rT} N(d - \sigma\sqrt{T})$$

ここで、

$$d = \frac{\ln\left(\frac{S}{X}\right) + \left(r - q + \frac{\sigma^2}{2}\right)T}{\sigma\sqrt{T}}$$

1株当たりのオプション価格(C)

株価(S) : 2022年6月28日の東京証券取引所における当社の普通株式の普通取引の終値(終値がない場合は、翌取引日の基準値段)

行使価格(X) : (募集新株予約権を行使することにより交付を受けることができる株式1株当たりの、新株予約権の行使時に払込むべき金額 : 1円)

予想残存期間(T) : 2.364年

株価変動性() : 2.364年間(2020年2月16日から2022年6月28日まで)の各取引日における当社の普通株式の普通取引の終値に基づき算出した株価変動率

無リスクの利子率(r) : 残存年数が予想残存期間に対応する国債の利子率

配当利回り(q) : 1株当たりの配当金(過去12カ月の実績配当金) ÷ 上記 に定める株価

標準正規分布の累積分布関数(N(・))

上記により算出される金額は、本新株予約権の公正価額であり、有利発行に該当しない。

本新株予約権を付与される者が払込金額の払込に代えて、当社に対する金銭報酬債権をもって相殺することにより払込みを行う。

(訂正後)

新株予約権1個当たり8,951円

上記金額は、本新株予約権の公正価額であり、有利発行に該当しない。

本新株予約権を付与される者が払込金額の払込に代えて、当社に対する金銭報酬債権をもって相殺することにより払込みを行う。

(4) 発行価額の総額

(訂正前)

未定

(訂正後)

51,411,336円

(11) 新株予約権の取得の申込みの勧誘の相手方の人数及びその内訳

(訂正前)

当社子会社の取締役、計15名(退任した者を含む。)

(訂正後)

当社子会社の取締役 14名

当社子会社の使用人 1名()

()当該使用人は子会社取締役であったが、2022年4月1日に退任し、現在は子会社の使用人である。

以 上